

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第976回

2011年11月1日(火) 晴 第17回

～ロータリー財団月間～

斉唱 君が代 奉仕の理想
 出席 会員63名(出席率算入人数55名)
 出席39名 出席率70.91%
 前々回補填率92.86%(10月18日分)
 ゲスト RI第2760地区ロータリー財団委員会
 委員長 深谷 友尋さん
 ビジター 名古屋南RC 池 潤さん
 名古屋名北RC 宇津木 寧さん

入会式

大平明子(おおひら あきこ)さん

生年月日: 昭和35年10月13日
 職業分類: IT機器販売
 事業所: ハイパーツールズ株式会社
 趣味: アメリカンフラワー
 推薦者: 坂田 信子さん



この度は、名南RCに入会させていただきました、ありがとうございます。大変嬉しく思っております。ご紹介者の坂田さん、ご承認いただきました皆様、ありがとうございます。

私の会社は、創業21年目を迎えました。このロータリーをきっかけに、新しい人生が素晴らしいものとなりますように、頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

江松央統(えまつ ひさのり)さん

生年月日: 昭和53年4月2日
 職業分類: 不動産業
 事業所: 福松不動産販売株式会社
 趣味: サーフィン
 推薦者: 加藤 英敏さん



こんばんは。緑区で不動産会社をさせていただいております福松不動産販売の江松と言います。加藤社長にご縁をいただきまして、入会をさせていただきました事となりました。見て分かるように、昭和53年生まれで33歳になりました。まだまだ会社も私も小さく、これからの事ばかりですが、色々ご指導いただきますよう宜しくお願いいたします。

会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆様、こんばんは。

地区ロータリー財団委員長の深谷友尋さん、今日はお忙しい中卓話に来ていただき、ありがとうございます。

11月は財団月間でございます。財団月間にふさわしい卓話をお願いしたいと思います。我々も財団には深く関係しております。今年度は地区補助金をいただいていたので9月に行いました。また、11月は皆様に、財団に対してお1人100ドル以上というご寄付をお願いするという事でございます。そういう事で当月に相応しい方をゲストとしてお迎えしております。

また、今日はビジターとして南RCの池さんにお越し願っております。池さんと私は大分昔にお会いして以来ですが、4RCのメンバーでございますので、ごゆっくりご歓談いただきたいと思います。

また、名北RCの宇津木さんにも来ていただいております。宇津木さんと私は30年位前、まだ弁護士になりたてホヤホヤの時に会社の件でご相談申し上げて以来、今日久方ぶりにお会いして非常に懐かしい思いをしております。宇津木さんもごゆっくりご歓談いただければと思います。

さて、先程入会式を行いました。大平さん、江松さん、我々と仲良く、ロータリー生活をエンジョイしていただき、またロータリー精神をなるべく早くご習得いただければと思います。新しい仲間を迎えての例会でございます。皆様も仲良くしていただきたい。そして、早く我々に慣れていただきたいと思います。



幹事報告

副会長 伊藤 博昭さん

- 11月度理事会を8日に開催いたします。5時より「バインの間」です。理事・役員の方はご出席の程お願いいたします。
- 11月8日は例会場変更になっております。16階「アゼリア」です。宜しくお願いいたします。
- 海外出張届けが出ております。白藤憲雄さん、11月3日～9日まで、オーストラリアです。
- 深谷さんからニコボックスに過分にご協力いただきました。ありがとうございます。

ニコボックス

- ◆ 今月11月はロータリー財団月間です。本日卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

RI第2760地区ロータリー財団委員会
委員長 深谷 友尋さん

- ◆ 入会日です。とってもうれしいです。 大平 明子さん
- ◆ 本日入会です。宜しくお願いします。 江松 央統さん
- ◆ RI第2760地区 ロータリー財団委員会 委員長 深谷 友尋さん 卓話、宜しくお願いします。

加藤 英敏さん 白藤 憲雄さん 木村 猛さん
中村 勝さん 出田真太郎さん 白銀 義昭さん
三浦 隆さん 新原 尚さん 細井 俊男さん
伊藤 博昭さん 田中 一雄さん

- ◆ 新入会員の 大平明子さんと 江松央統さんを歓迎します。

東山 直史さん 江上 隆夫さん 鈴木 一博さん
久米 伸治さん 川瀬 悟さん 伊藤 圭一さん
三浦 和人さん 杉本 勇さん 森田敏二三さん
長尾 浅吉さん 杉山 隆秀さん 小野 雅之さん
佐々木元彦さん 川辺 清次さん 中西 芳子さん
吉木 邦男さん 三島多恵子さん 大橋さなえさん
田中 省三さん 有川 英敏さん

- ◆ 残念。先週の卓話、1ヶ月の準備期間にもかかわらず約束の持ち時間がいただけず、十分な説明も無く皆様に大変ご迷惑をお掛け致しました。外部卓話者には十分時間調整に努めて下さい!! 小山 慎介さん

本日合計 45,000 円 累計 604,000 円

アンチエイジングエクササイズ

■環境保全・保健問題委員会

委員長 中村 勝さん

先日は足の体操を主にやりましたが、今日は頭の体操をやってみたいと思います。皆様と一緒にお願いします。

委員会担当卓話

■ RI 第 2760 地区ロータリー財団委員会

委員長 深谷 友尋さん

国際ロータリーのテーマですが、パネルジー会長は「ここの中を見つめよう 博愛を広げるために」というテーマで今年度1年間スタートいたしました。強調事項として「家族・継続・変化」、世の中の激しく移り変わる昨今を反映したキーワードではないかと思えます。



ロータリー財団の組織の監査委員会とプロジェクトチームは、クラブ奉仕をはじめとする5大奉仕、RYLA、RCC等が委員会を作っておりまして、財団の資金の活用を色々研究するチームです。これは当地区しかございません。日本の地区からは注目の的になっているプログラムに成長しております。

アーサー・シェルダンは「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」という言葉を整えまし

た。決議2334です。ロータリー財団の大きなテーマはここに隠されています。奉仕というのは決してお金を出すだけの事ではございません。ロータリー財団というキーワードは奉仕をする団体でございますが奉仕団体ではございません。自ら寄付をし、そのお金を活用して全世界の平和を願う訳でございます。あくまでもロータリアンが自ら奉仕活動を実践するというキーワードもこの中に隠されています。

アーチ・クランフが1917年に「世界でみんなで良い事をやろう」と言ったのがロータリー財団の始まりです。まもなく100年を迎えようとしております。1928年ロータリー財団と改称され、1983年にイリノイ州の非営利財団法人に認定されました。

未来のフューチャービジョン「未来の夢計画」は、「持続可能な成果をもたらす」という事が、昨年度から始まりました私共の新しいプログラムのテーマになっています。健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済すると同時に、世界理解・親善・平和を達成する事であるというのが、ロータリー財団の使命でございます。

フューチャービジョンのプログラムと運営は簡素化したと書いてありますが、これはIT化されたという風にご理解ください。決して簡単にできるものではなく、かなりの手続が必要です。

また、世界のニーズというキーワードですが、やはりこれからの人道的プログラム、世界の貧困・ポリオ等々のニーズに応えたプログラムに変更されてきております。

ロータリー財団が自分達のものであるという自覚を高める事と書いてあります。これからのフューチャービジョンは、ただロータリー財団に寄付をするだけではなく、そのお金をもう一度フィードバックして活用する事によって、地域社会や世界平和に貢献をする。まさしくロータリー財団は自分達のものだというプログラムに変更になった訳でございます。

寄付金をどのように使用するかについて、自由を寄付者に与えている財団は、ロータリー財団だけです。WHO、ユニセフ、赤十字等々がございしますが、それらはその機構がどこを救済するかを決めます。唯一ロータリー財団は、自らのロータリアンが決めます。この組織も全世界に誇れる事でございます。

本年度のプログラムを少し紹介します。本年度の寄付金としては、672,800ドル、約6,700万円ですが、これが地区の年次寄付として50%のシェアで戻って参ります。地区活動資金が、新地区補助金とグローバル補助金に分かれるプログラムに変更になりました。WFの国際活動資金の方は、グローバル補助金と協力関係を取り合い、パッケージグランドを行います。松前ガバナー年度は、ポリオに25,000ドル、世界平和に20,000ドルの寄付を寄贈しております。このプログラムを利用し、地区の裁量で行う168,000ドルと、重点6分野このプログラムを限定として168,000ドルを国際活動に提供しております。

私共のロータリー財団の活用は、この50%ずつの336,000ドル、またWFの168,000ドルの75%を地域に還元しようというプログラムを昨年度から行っております。お陰様で非常に効果が上がっており、皆様方のご支援の賜物だと思っております。フュー

チャービジョンの計画の基盤となりますのは、年次寄付、恒久基金、これをベネファクターと言います。年次寄付は、毎年集めた金額を全部使い切ってしまう。恒久基金は、基金を運用して運用益を活用します。ポリオプラスも寄付をしたものをポリオ撲滅の為にポリオエンドナウというプログラムに変化しています。大口寄付は、皆様からいただいた大口者の寄贈でございます。それ以外にもまだ使途指定の寄付があります。

昨年度の年次寄付は、全世界で106,744,220.20ドルです。11,471,382.51ドルが日本全国で集めた年次寄付です。当地区は700,072.93ドルです。なお、全ての総額寄付は、全世界では178,055,202.31ドルです。日本では16,070,095.08ドルです。当地区は898,728.42ドルで、日本の割り当て額の中で9%のシェアを占めております。

新地区補助金の本年度執行しました報告をさせていただきます。新地区補助金で申請がありましたのは、95件承認が下り、約6,090,000ドルが承認されました。承認されたグローバルの申請件数は世界で208件あります。これはパイロット地区での数字ですので、全世界と言っても540地区余りございますから、440地区がこれには該当しておりません。これはパイロット地区の100地区の数字です。WFの金額は5,305,905ドルが認証を受けました。また、提唱クラブとして拠出をした金額、グローバル補助金を使った金額ですが、11,987,176ドルです。100地区中99地区がグローバル補助金の申請をいたしました。新地区補助金は100%申請がありました。

名古屋名南RCは65名の会員数が前期末の数字です。お1人当たりの寄付額は104.62ドルです。9,028.52ドル昨年度いただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

地区の年次寄付は、お陰様で昨年度の田嶋ガバナー年度には、最高位の140ドルをいただきました。これはお1人の平均額でございます。ここに見ていただけるように、パイロット地区になったら財団のお金は自分達に戻るといった感覚になってきたと思います。年次寄付は今78ドルです。7,800円を出しますと、100ドルに相当しますが、できれば140ドル、10,000円寄付をいたしますと、ほぼこれに匹敵します。ドル建てですが、返ってくる時もドル建てですから、10,000円返していただきたいという考え方がありますし、その活動資金を使って、名南RCが行う地域の皆様とのプロジェクトを達成する為には、やはり10,000円という金額を私共の地区は、年次寄付の皆様にもお願いしているところでございます。どうか、ご協力、ご理解を宜しくお願いいたします。

地区の補助金は、168,150ドルを今年度支給しました。全部を63クラブに拠出しましたので、クラブはそれぞれの事業を行っていただく事が今回できました。143,150ドルでございます。

ただ、前年度は1人奨学生の漏れがございました。合格が取れなかった方がいました。今年度合格が取れましたので、急遽特別にガバナーにも御裁可をいただいて、1人奨学生を派遣する事にさせていただきました。なぜかと言うと、元来はこのグローバル補助金を使って奨学生を出すというプログラムに当地区はなっていたからです。しかし、ロータ

リーの超我の奉仕と言いますか、それぞれの学生が教育的プログラムを達成する為には、こういう事も必要という温かいお言葉を皆様からいただいて、決めさせていただきました。

グローバル補助金は、今職業研修チームがオーストラリアと組んでおり、地区大会が終わりますと、来年度2月に派遣をいたします。昨年度は、ヒューストンのメディカルセンターに研修生を送り出しましたが、今年度はオーストラリアのチームと行う事しております。

また、地区の国際奉仕委員会、これはWCSですが、ここも今東南アジアの国とのグローバル補助金を使ったパッケージグランドを提案中です。それから、東日本大震災における陸前高田病院の医療支援に100,000ドル拠出いたしました。全体では100,000ドルは微々たるものでして、日本円にすると約3億円掛かります。その中の1つとして、毎年こういう事を積み上げていこうという事で、これは仙台・岩手の地区とのマッチンググランドでございます。また、名古屋瑞穂RC・大須RCも今東南アジアの国とのマッチングを考えていまして、パッケージグランドを申請中でございます。総額では180,250ドルの予定です。

今年度支援を決めましたが、仙田年度も引き続き東日本大震災の方にするという事で、東日本大震災支援チームがまもなく立ち上がります。これは、ロータリー財団が指導するものではなく、松前ガバナーがご自身がリーダーとなり被災地の状況・情報を公開し、被災地とクラブとの懸け橋をし、支援活動が円滑に行われるように支援チームを発足するというプログラムです。これが立ち上がりますと、来年度以降のクラブの活動が一変するのではないかと思っております。

ここで公益法人のロータリー財団に寄付していただいた金額がこのように使われる、或いは、免責になるという事をご報告いたします。年次寄付・ポリオ・恒久基金等の使途指定金は、個人の場合、認証ポイントになり免税措置も受けられます。それは2,000円を引いた残りが、個人の年所得申告時に免除額として記載が整いますと、特定公益増進法人に対する寄付行為という事で、免責になります。法人の場合も同じように免税になります。ただし、ポイントにはなりません。ポイントにならないという事は、年次寄付を毎年1,000ドルを積み上げていきますと、10,000ドルになります。10,000ドルになりますと、大口寄付者になる事が出来ますが、法人の場合は出来ないという事です。

また、ロータリー財団の東日本地震災害復興基金も同じです。個人の場合は両方とも免責になります。法人の場合もポイントは付きませんが、優遇税制措置を受けられます。

ところが、誤解の無い様にさせていただきたい事があります。6月30日に平成20年度の税制改正による東日本震災に関わる義援金の取扱です。公益財団法人ロータリー日本財団委員会が申請をしており、この申請が下りますと、法人の場合の免税措置が倍額まで認められる事になります。認定団体に決まると優遇税制措置がまた一段と良くなるという事でございます。その時に、果たしてポイントが付くのか、RIのTRFの認証を受ける事が出来るかは、今申

請中ですので、お間違いにならない様にさせていただきたいと思えます。

東日本の今後の基金で、ポイントの取得が出来るのは、今年度12月31までです。これまでにご寄付をなさった方は、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、大口寄付者に認定を受ける事が出来ます。また、復興基金への申請の最終的な締めは3月31日です。審査は6月30日に締め切ります。プロジェクト報告作成は7月1日にしまして、国際ロータリー、ロータリー財団へ最終中間報告を提出する事で2012年12月31日に結集するという事でございます。「ロータリーの友」の17ページに詳しく書いてございますので、是非お読みください。

今、東日本地震災害復興基金は、残高が2,211,934.53ドルで、執行しましたのは4,072,252ドルで、まもなく底をつくと思われれます。

東日本の支援活動は、支援先が分からないというクラブが多くあります。この東日本大震災支援プロジェクトチームが設立されますと、支援先が明確に分かって参りますし、方法も分かって参りますので、またご紹介をさせていただきたいと思っておりますので、宜しくお願ひいたします。

ロータリー財団で来年度は被災地に支援をすると決めているが、当クラブは毎年クラブ計画によって地域の支援を行いたいのだが、そういう事はできるのかというお問い合わせが沢山あります。出来ませぬ。財団委員会は、出来る事であれば、可能な限り数年間は東日本大震災の支援活動に新地区補助金を使用したいと考えておりますが、各クラブの活動方針は、尊重しなければなりません。強制的に財団が決める事ではありませぬと書いてございます。ですから、クラブの事業計画の中でお決めいただければ結構かと思えます。

また、DDFの恒久基金の運用益が含まれるかという事については、含まれます。

グローバル補助金を申請する際にまず提案書を出すのですが、その承認後に申請書を提出する時に、ガバナーと財団委員長の承認が必要なのかというお問い合わせですが、オンラインでやります。必要です。

夢計画の有利な点と注意点ですが、一番は未来の夢計画は地区・クラブに裁量権を委ねております。非常に簡素化したプログラムになって参りました。財団はよりロータリアンのものである事を強く打ち出したプログラムになります。10,000円皆様から年次寄付をいただいたお金の75%、7,500円は皆様の地区に返すわけでございます。皆様がそれをご活用いただける。そして2,000円を除いた8,000円まで免税措置があるわけでございますから、これから使われるお金は全て優遇税制措置の中で解決するといったプログラムになっておりますので、どうかお進みをいただきたいと思いますと思っております。その代わり専門性の高い活動が要求されます。ロータリアンはお陰様で素晴らしい先輩方が沢山おみえでございます。そうした専門性を生かして活動の方向をご検討いただければありがたいと思えます。人道的プログラムに移りながら、経理の明確さと透明性が求められますという事です。

最後に、奨学生の募集をいたしております。当地

区では、新地区補助金は使いませぬ。これは全部クラブに戻します。奨学生の募集はグローバル補助金の重点6分野を採用して大学院生を募集しております。これは単年度でもマルチでも結構でございます。30,000ドル支援をいたします。募集期間は12月、6月に選考委員会を開きますが、7月頃に合格証が出たから願ひするスポンサークラブもございませぬので、その場合は随時行おうというプログラムを採用させていただきませぬ。

そのようにこのロータリー財団の新しいプログラムが大きく変わった1つの理由は、クラブのロータリアンが自らどういう活動をするかという事を決める、そういうプログラムに変わったという事です。今までは、RI・TRFが決めたプログラムをこなしただけですが、これからは世界のニーズが変わったのだから、地域のニーズも同じように、その地域の事をロータリアンが吸収して、地域奉仕活動をする事もやっていただきたいというプログラムに変わりました事が大きな所でございませぬ。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団のポリオは、お陰様で今190,000,000ドルを越えました。まもなく200,000,000ドルチャレンジが終わろうとしていませぬ。

来年度2月にインドのニューデリーでポリオの投与計画を立てており、1人でも多くの子供達を救う為に是非当クラブからご参加を願ひしたいと思えます。

以上、ご清聴ありがとうございました。

第 978 回例会 (11 月 19 日(土)・20 日(日)) のご案内

11 月 15 日例会変更 地区大会